

# 歯科医師のしごと

## 保育施設における歯科医師の役割

皆さんは保育施設に来る歯科医師と聞くとどのようなイメージがあるでしょうか。

近年、乳幼児のむし歯は年々減少傾向といわれておりますが、やはりむし歯になってしまいう乳幼児が一定数いることも事実です。むし歯は一度なってしまうと自然治癒するということがないため、まずはむし歯にならないために、予防について正しい知識を持つことが必要となります。

むし歯だけでなく、歯や口の病気は子供たちの楽しみにしている食事や楽しいおしゃべりにも悪影響を及ぼします。嘱託医（園医）は保育施設で子ども達が楽しく、健康に過ごせるよう、保育施設での歯科健診だけではなく、むし歯やその他の口腔内の病気の予防や歯・口の健康支援を行っています。

### ・保育施設での歯科健診

保育施設での歯科健診で、「むし歯だね」とか「C」と言われた歯は、歯科医院で治療してもらう以外、治すことはできません。しかし、「CO（シーオー）」という言葉を知ったことはあるでしょうか。COはむし歯のなりかけであり、「なりかけのむし歯」は口腔ケアや食生活習慣を改善することで、削る治療を避けることができるかもしれません。

嘱託医（園医）は、子どもたちの口をチェックして、むし歯があった場合は歯が痛くなる前に歯科医院を受診する必要があることを説明することや、むし歯のなりかけを見つけ、むし歯を削らなくて済むように、注意して口腔ケアをするようアドバイスをしています。その他、歯並びやかみ合わせの異常などについても相談やアドバイスをを行います。

### ・歯・口の健康のための情報提供や指導

むし歯を予防する方法にも様々なものがありますが、むし歯予防の基本は歯磨きと規則正しい食生活です。嘱託医（園医）は、子どもが安全に効果的な歯磨きを行うことができるよう口腔ケアに関する情報提供や指導、むし歯を予防するための食生活についての情報提供などを行っています。また、園での口腔外傷の予防や対処法などについての情報提供も行います。



むし歯は生活習慣と大きく関連する病気です。子ども達の生活を近くで見守ってくださっている保育士さんだからこそ、見つけられる問題がたくさんあると思います。ぜひ、嘱託医（園医）の先生や近隣の歯科医院の先生と上手に連携をとって、子ども達の口腔内の健康を守っていただければと思います。